

米国議事堂と連邦議会



議事堂

連邦議会議事堂は、世界中で最も著名な民主主義政府の象徴です。そこには1800年以降、連邦議会が置かれてきました。議事堂は、議会が国家の法律を起草するために会合する場であり、大統領が就任式を挙行し、一般教書演説をする場です。200年以上の間に、議事堂は国家とともに成長し、新しい州が連邦に加わるとともに増えてきた上院議員、下院議員を収容するために新たに両翼が増築されました。その天井は歴史的なイメージで飾られ、そのホールには米国史における偉大な出来事、人物を描いた彫像と絵画が配置されています。

初期の議事堂

議事堂はもともとウィリアム・ソーントン博士が設計し、ジョージ・ワシントン大統領により1793年9月18日に礎石が据えられました。ベンジャミン・ヘンリー・ラトロブ、チャールズ・ブルフィンチらの建築家が初期の建設工事を指揮しました。1800年に政府がフィラデルフィアの一時所在地からワシントンDCに移転した際、政府を迎えた議事堂は煉瓦と砂岩からなる未完成の建物でした。連邦議会は小さく窮屈な北翼に置かれました。最初は、下院は議会図書館用に用意されていた2階の大広間で会合し、上院は1階の会議室で会合しました。1810年から1859年までの間、上院は2階の会議室を使用しましたが、その部屋は現在旧上院本会議場として知られています

1807年、下院が使うための議事堂の南翼が完成しました。中央のドーム付建物を建造するための空き地としての庭を横切る木製通路が、下院翼と上院翼を繋いでいました。これは2回目の米英戦争中の1814年8月当時の議事堂外観であり、その時英国軍は議事堂やワシントンの他の建物を焼き払いました。外壁は残ったものの、内部の殆どは全焼しました。

1819年、議事堂の両翼が再建、再開されました。1826年に中央の建物が完成し、両翼と合体しました。木と銅でできた低めのドームがロタンダの上に建設されました。

議事堂拡張とドーム

1850年までには多数の新しい州が米国に加盟したために、下院と上院の規模が大きくなり上下両院の本会議場に収容しきれなくなりました。当初の建物の両端に大きな翼を増築することによって、議事堂を拡張することが決定されました。1851年に、新しい翼の礎石を据える式典で、上下両院の議員を歴任してきたダニエル・ウェブスターが有名な演説を行いました。下院は現在の本会議場を1857年から使い始め、上院は現在の本会議場に1859年に移転しました。

下院の旧本会議場はその後、国立彫像ホールになりました。議会は各州に、州の最も傑出した市民2名の彫像を献納するよう依頼しました。今日、これらの彫像は国立彫像ホール、ロタンダ、議事堂ビジターセンター、ビル全般にある廊下に陳列されています。南北戦争中も、トー



ヘンリー・クレイ上院議員は旧上院本会議場で、1850年妥協を支持して演説しています



コーコラン美術館の所蔵品にあるサムエル・F・B・モース作の旧下院本会議場の絵画

マス・U・ウォルターが設計した新しい鑄鉄製ドームの作業が継続中でした。1863年12月2日、米国人芸術家トーマス・クラウフォードが彫刻した自由の像はイーストプラザの真上287フィートにあるドームの頂点に設置されました。

1870年代に、造園技師フレデリック・ロー・オルムステッドが、議事堂の北、南、西の高台にまたがるテラスを設計しました。このテラスにより部屋の増設ができ、またテラス自体が連邦議会議事堂の端にある建物用の巨大な台座ともなっています。

前世紀の変化

20世紀初頭には、更に広い空間が必要となりました。最初の下院議員会館と上院議員会館はそれぞれ、1908年と1909年に完成しました。

議事堂当初の砂岩の外壁がひどく傷んでいたことが、本格的な修理のきっかけになりました。1958年から1962年までの間に、東面32フィート分が拡張され、建物の当初の正面が大理石で再現されました。東面回廊の内側に依然として旧外壁の一部が残っており、議事堂建設に使用された石材を切り出すために働いたアフリカ系米国人奴隷の永続的な遺産として残されています。

1980年代に、西面が注意深く修理、復元されましたが、ここは大理石による増築で覆われていない唯一の原型のままの外壁部分になっています。

議事堂の最新の増築部分は3階建の議事堂ビジターセンターで、東側広場の下に建設され、2008年に完成しました。この施設は、展示ホール、オリエンテーション用劇場、レストラン、土産品店、議会図書館への連絡路、その他多くの訪問者のための快適な環境設備、議事堂の機能改善などを含んでいます。



旧下院本会議場は現在、国立彫像ホールになっています。

ロタンダ

ロタンダは議事堂の中心です。立法機能は果たしませんが、エイブラハム・リンカーン以降、大統領、連邦議会議員、軍の英雄、傑出した市民の国葬が行われてきた儀式空間です。来訪する国家元首や賓客はロタンダで歓迎を受けることが多く、多くの歴史行事が挙行されてきました。

ロタンダには、ジョージ・ワシントンの副官補で、アメリカ独立革命の情景を描いたジョン・トランプル作の4点の大きな油絵が展示されています。他の4人の画家による絵画は米国の探検、入植に関連した出来事を描いています。ロタンダの床から上180フィートの高さに吊るされた天蓋には、イタリア系アメリカ人画家コンスタンチーノ・ブルミディが「ワシントンの神化」を描き出しました。絵画は、アメリカの民主主義と技術進歩の象徴に取り囲まれたジョージ・ワシントンを表現しています。ブルミディは、議事堂の多くの部屋や廊下に絵を描き装飾を施し、ロタンダを環状に縁取る帯状装飾を描いている時に息を引き取りました。国家の歴史上の重要な出来事を描いた彼の仕事は他の芸術家達に引き継がれ、完成されました。



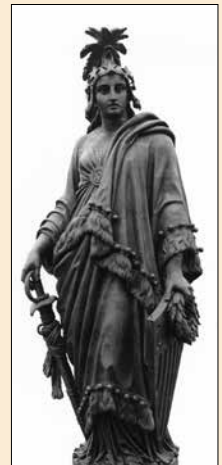
コンスタンチーノ・ブルミディが1865年に議事堂ドームの内側に「ワシントンの神化」を描きました。

この絵は北翼だけが完成した1800年の議事堂の姿を示しています。



1861年には新しい鉄製ドームの建設がかなり進んでいました。

1801年以降、大統領就任式は議事堂で挙行されてきました。これは1925年のカルビン・クーリッジ大統領就任式です。



自由の像はドームの頂上を飾っています。(上)

議事堂の最初の写真は1846年に撮影されました。



連邦議会

連邦議会は、上院と下院という二院の立法機関から構成されており、両院は議事堂の両翼にある別々の本会議場で会合します。ここでは、議員が法案を提出し、課題について演説し、法案、決議案、人事指名、条約に関して投票します。議事堂や議員会館のあちこちにあるブザー、信号灯が投票の際に議員を召集します。

下院は1857年12月以降、南翼の本会議場で会合してきました。下院の立法活動はこの部屋で始まり、この部屋で終わります。全ての法案はここで提出され、委員会の承認を経た法案はここに返ってきて、審議され表決されます。

三層の演壇が本会議場を見下ろす位置にあります。下院議長またはその指名を受けた議員がその演壇から、議院法学者に補佐されながら議事を司ります。一段下の段には、法案の読み上げ、票の集計、議論の記録など本会議場の運用を補佐する事務官用の場所が提供されています。本会議場の現在の劇場式座席は1913年に設置され、それまで議員の唯一の事務所の役割を果たしてきた個々の机に取って代わりました。下院は1789年の創設以降、バルコニーを一般市民と報道機関に開放してきました。議事手続きのテレビ生中継は1979年に始まりました。

1859年に議事堂の新しい北翼が完成した時に、上院は現在の本会議場に移転しました。

統括官が中央の演壇から議事を司ります。その下にある段は、上院職員および事務官用にあてがわれています。100個の机が半円形に配置されており、所属政党に従って配分されています。ごく稀な場合を除いては、本会議の審議は一般公開されており、上院本会議場バルコニーは報道関係者、スタッフ、家族、外交官、訪問客用に提供されています。1986年以降、上院本会議での毎日の審議はテレビ放映されてきました



上院本会議場

上院

上院には100名の議員がおり、各州は2名の上院議員により平等に代表されています。上院議員は30歳以上でその州の住民、かつ最低9年間にわたり米国民でなければなりません。上院議員は選挙により6年間の任期が与えられ、上院議員の3分の1ずつが2年ごとに改選され任期が一部重なり合っています。

上院議員は当初は州議会議員により選ばれていましたが、1913年の憲法修正17条により上院議員は国民により直接選挙されることになりました。上院議席が空席になった場合、殆どの州の場合州知事が代替りの議員を任命できます。副大統領が「上院議長」ですが、日常的には上院議長代行(多数党の年配議員)またはその指名を受けた代理が統括官の椅子に座ります。副大統領は、賛否の票が拮抗した場合にのみ投票します。

下院

20世紀初期以降、下院の議員数は投票権を持つ議員435名と決められています。10年ごとの国勢調査の後、州はその人口に応じて下院議員数を割り当てられ、選挙区が再編される可能性があります。各州には最低1名の下院議員を代表として送る権利があります。

下院議員が任期半ばにして死亡または辞任する場合、後任を決定するために特別選挙が実施されます。また、投票権を持たない代議員が、米領サモア、コロンビア特別区、グアム、バーージン諸島、北マリアナ諸島を代表しています。プエルトリコは駐在代表により代表されています。

下院議員は25歳以上で州の住民で、かつ最低7年間米国民たる必要があります。下院議員の任期は2年間です。下院の統括官は下院議長です。大統領継承権の序列としては下院議長は副大統領の次に位置します。



下院本会議場

特別な権限

憲法が定める抑制と均衡の制度においては、連邦政府の権限は立法府、行政府、司法府の間で、さらには連邦議会両院の間で共有され、分担されています。

憲法は、上下両院の両方に、宣戦布告、軍隊維持、課税、資金借入れ、造幣、商業規制、政府運営に必要な全ての法律の策定の責任を付与しています。

上院だけが、条約と人事指名に対する助言と同意を与えることができます。選挙人投票で大統領が決まらない場合、下院が大統領選挙の勝者を決定します。1800年と1824年の選挙の場合がそうでした。下院のみが弾劾手続き(大統領その他の連邦公職者の起訴)を開始する独占権限を持ち、上院のみが弾劾された公職者を裁判し、公職から解任するかどうかを決定する独占権限を持ちます。

議員の事務所

下院議員の事務所は、議事堂の南側にあるインディペンデンス通り沿いの3つの建物、キャノン、ロングワース、レイバーン各議員会館に置かれています。上院議員の事務所は、議事堂の北側にあるコンスティテューション通り沿いの3つの建物、ラッセル、ダークセン、ハート各議員会館にあります。

訪問者用情報

議事堂の訪問は、ファースト・ストリートとイーストキャピタル・ストリートの交差点近くにある議事堂ビジターセンターの入り口を入ったところから始まります。全ての訪問者はセキュリティー検査を通過しなければなりません。

議事堂のガイド付きツアーは、議事堂ビジターセンターの下の階に2箇所あるオリエンテーション劇場のひとつで開始されます。「多くから作られた一つ」という13分間の映画が、議会がどのように新しい形態の政府を確立したかを説明し、米国人の日常生活で議会が果たしている重要な役割を強調し、連邦議会のある建物を訪問者に紹介します。

ツアーは無料ですが、整理券が必要です。ツアーの事前予約は、オンラインwww.visitthecapitol.gov、自分の州の上院議員・下院議員の事務所を通して、あるいはビジターサービス事務所(202)226-8000を通して、のいずれかの方法で行うことができます。

議事堂訪問中に、自分の州の上院議員や下院議員の事務所を訪れたり、実際の下院・上院の本会議審議をご覧になりたい場合があるかもしれません。会期中は、本会議場に入るにはギャラリー・パスが必要で、自分の州の上院議員か下院議員を通してそれを入手できます。外国からの訪問者は、議事堂ビジターセンターの上下の階にある下院・上院アポイントメント受付でギャラリー・パスについてお尋ねください。

議事堂ビジターセンターは、感謝祭の日、クリスマス、1月1日、大統領就任式の日を除く月曜日から土曜日までの午前8時30分から午後4時30分まで訪問者を受け入れています。

訪問者は、議事堂ビジターセンターのスタッフか、奴隷解放ホールの案内所にて、車椅子を要請することができます。事前に予約すれば、ツアーの手話通訳を手配することもできます。映画と展示の音声説明の録音再生装置は案内所で借りることができます。映画は全て字幕入りです。

議事堂、下院、上院に関する追加情報は、www.aoc.gov、www.house.gov、www.senate.govでご覧いただけます。米国民で議事堂または連邦議会について具体的な質問がある方は、自分の州選出の上院議員や下院議員に手紙で問い合わせをされるようお勧めします。



ロタンダは議事堂訪問のハイライトです